

---

# 行動変容WGの今年度の活動について

---

# これまでの行動変容WGの活動まとめ

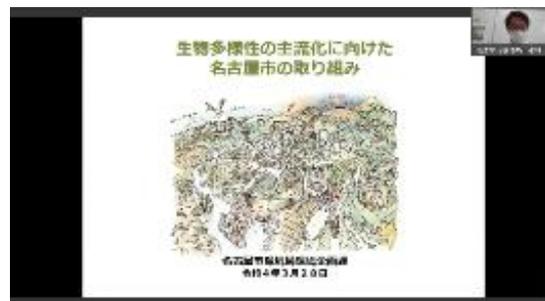
## (第1回 R4.1.6)

- 座長の選出、今後の検討の方針議論
- MY行動宣言の課題を議論
- 記述版NY行動宣言のナッジ効用の検証、小売店における暮らしのヒントの効果検証を行うことを報告
- 「政策ナッジの使い方」(佐々木座長)
- 「生物多様性保全に向けた行動変容」(久保専門委員)



## (第2回 R4.3.28)

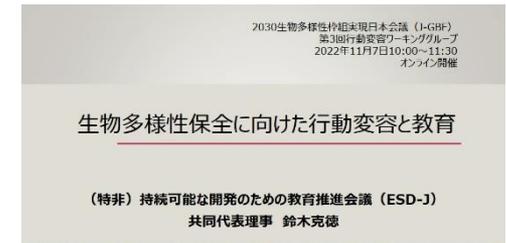
- 記述版MY行動宣言に関する調査検討結果および、小売店における暮らしのヒントの効果検証の報告し今後の方向性を議論
- 「行動変容への取り組み事例紹介」(藤木専門委員)
- 「「生物多様性の主流化に向けた名古屋市の取り組み」(名古屋市 毛利氏)



# これまでの行動変容WGの活動まとめ

(第3回 R4. 11. 7)

- MY行動宣言の検討について、「内容」と「活用方法」の両方の視点があるが、当面は誰にどう使ってもらうか「活用方法」に重点を置いて議論する
- 「ファッションと環境」（環境省 岡野氏）
- 「生物多様性保全に向けた行動変容と教育」（NPO法人ESD-J 鈴木氏）



(第4回 R5.3.28)

- MY行動宣言の活用方法を議論
- 「30by30に係る認証マークを使用した調査（仮想の買い物実験）」結果の報告
- 行動変容WGの来年度以降の活動方針について議論

# 第4回WG等におけるご意見と対応方針（案）

## 委員等からの意見

MY行動宣言後の行動変容についてフォローアップ調査をすることが大事。

（生物多様性に資する商品を買ってくれる人が増えれば、企業の参入機会になるという前提に対して）想定しているアプローチ、ターゲットは正しいか、仮説の確からしさを整理するのがまず大事。事前に細かく決めた方が良い。

行動変容にかかるこれまでの知見を整理した上で、実施すべき事業を検討したり、新規で行う調査の位置づけ等を整理すべき。

事例発表は継続したほうがいい。  
「生物多様性×○○」のようなテーマでの発表が有意義ではないか。

## 対応方針（案）

MY行動宣言後の行動がどう変わったか、という点について、いきものアプリ等を活用した調査を検討中。

今年度、行動変容の因果分析を行うこととしており、今後はこの分析結果をもとに、行動変容にかかる各種調査業務等を実施する予定

これまで道家氏や久保委員から紹介いただいた情報などについて知見・情報を整理中。とりまとめ次第、WGにおいても共有。

研究事例等の報告に加え、各企業、団体等における行動変容等に関する事例について継続的にWGで発表してもらうこととする。

# 今年度の行動変容関係の環境省業務（予定）

## ○因果分析を用いた行動変容手法の分析

生物多様性の保全に資する商品の消費選択に与える要素を特定し、その因果関係を分析し、今後の介入実験の手法を検討

## ○ECサイトと連携した生物多様性に配慮した消費行動の調査

ECサイトと連携し、自己目的、自己以外への贈答目的について、生物多様性に配慮した消費行動の変化を調査

## ○小売店等と連携した情報発信（予定）

小売店に勤務する従業員等を対象にしたワークショップを開催した上で、来店者に向けて小売店従業員が考える生物多様性に配慮したライフスタイルを促す情報発信を実施。生活者（消費者）の行動変容及び従業員の意識変化等を調査

## ○学生、若年層を対象としたwebアンケート調査

就職活動における企業選択等において、生物多様性・環境等への配慮・貢献をしている企業への志向度を調査

## ○行動変容に関する過去の知見整理、事例集の作成

Behavior Change For Natureを中心に、行動変容に関する研究・実践事例を整理し、事例集のような形でWGにおいて共有

# 行動変容に関する知見整理、事例収集

Behavior Change For Nature				
行動変容の具体的内容				
	No.	page	タイトル	内容
	1	P26	Would you prefer a 'field grown breakfast' or a 'meat-free breakfast'?	商品の文言をおいしそうな表現に変えることにより持続可能な食品を宣伝する際にも有効であることが判明 BITが世界資源研究所と協力して調査
	6	P26	providing insights of the impact of a behaviour change campaign to reduce the demand for rhino horn in Viet Nam	別の論文 ベトナムにおけるサイの角の需要を減らすための行動変容キャンペーンについての洞察
認知バイアスを利用する	10	P28	Uncertainty causes us to stop and think. 不確実性を利用した、漁師のアワビ収穫量減少の発見。	不確実性があると、私たちは立ち止まって考えるようになります。 メキシコのバハ半島沿いの小規模漁業者の協同組合による研究 将来の不確実性がアワビの漁獲行動にどのような影響を与えるかを比較研究した。研究者は、社会的および環境的不確実性が高まるシナリオに直面した場合のアワビの収穫量は漁師によって資源を減らすことを発見しました。こうした傾向は、漁業者間でコミュニケーションが行われるとさらに強まりました。
望ましい規範を推進する	15	P34	How would you feel if you found out most people in your industry agreed with a certain practice?	あなたの業界の多くの人が特定の慣行に従っている事を知ったときあなたはどうか感じますか？ フランスでは農家が持続可能な農業を実践していると聞けば、契約がいつ終了するかに関わらず、その農家が持続可能な農業を継続する可能性が高いことがわかった。
	16	P34	Utilities have been successful in leveraging social norms and social comparison in monthly home reports to reduce energy	電力会社は、毎月の住宅レポートで水の消費量と水の消費量について、自分たちは近所の人たちよりも多く使っていると伝えることで、社会規範と社会比較を活用してエネルギーを削減することに成功しています。
	17	P34	Dynamic norms: highlighting that more and more people are starting to eat less meat, and to conserve water, led individuals to order more meatless entrees and reduced	動的な行動規範：多くの人々が肉の摂取量を減らし、水を節約し始めていることを強調すると、個人はより多くの肉を含まないメインディッシュ注文し、水の消費量を減らすことができます。
	18	P34	Including the sentence '9 out of 10 people pay their tax on time' in UK government tax reminder letters brought forward £200 million in late tax payments.	英国政府の納税督促状には「10人中9人が期限内に納税している」という一文が盛り込まれ、2億ポンドの納税遅延されていた納税が前倒しに納められた。参考文献なし。この一文のみ。
	19	P34	A number of studies have shown that one of most influential factors for a household purchasing solar panels is whether other households in the neighborhood have them, more so than their age, race, income, or political affiliation.	多くの研究が、ソーラーパネルを購入する世帯にとって最も影響力のある要因のひとつは、年齢や人種、収入、政治的信条よりも、近隣の他の世帯がソーラーパネルを持っているかどうかであることを示しているMeyer, R. (2017, Jun 12). Google's new product puts peer pressure to a sunny use.
	20	P34	A study in China's Wolong Nature Reserve sought to boost farmers' re-enrollment in their Grain-to-Green program that converts agricultural land into forests or pastures.	中国のWolong自然保護区での研究は、農地を森林や牧草地に転換する「Grain-to-Green」プログラムへの農民の再加入を促進することを目的としている。 農地を森林や牧草地に転換するプログラムである。農地転用に対する近隣住民の行動に関する情報を与えると農家は、登録時の支払いに加えて、土地の転換に関する近隣住民の行動についての情報を与えられた場合、再登録する可能性が高くなった。
	22	P36	A study of voluntary contributions to a national park in Costa Rica showed that when individuals were given a free gift prior to donation or were told about the average donation amount by others, they tended to donate more themselves.	コスタリカの国立公園への自発的な寄付に関する調査では、寄付する前に、個人に無料の贈り物が与えられると、または他の人から平均寄付額について知らされた場合、より多くの寄付をする傾向がありました。 Alpizar, F., Carlsson, F., & Johansson-Stenman, O. (2008). Anonymity, reciprocity, and
	26	P37	Voluntary contributions to a Costa Rican national park made in public in the presence of a solicitor were 25 percent higher than those made in private.	コスタリカの国立公園への任意寄付は、勧誘員の立ち会いのもと公衆の面前で行われた。 個人的に行われる寄付よりも25%高かった。
	27	P37	BIT modified letters sent to drivers who failed to pay road tax. By adding a photo of the recipient driving their car (captured by on-road cameras), payment rates were increased by over 20 percent.	BITは、自動車税を滞納したドライバーに送る手紙を修正した。 (監視カメラで記録されています)を追加することで、納付率が20%以上向上した 大気質を改善するための「アイドリング禁止」の交通標識の遵守率も、同じ方法で向上した。 Meleady, R., Abrams, D., Van de Vyver, J., Hophthorow, T., Mahmood, L., Player, A., ... & Leite, A. C. (2017). Surveillance or self-surveillance? Behavioral cues

# 行動変容に関する知見整理、事例収集

公または個人間の約束を奨励する	29 P39	Would you commit to reuse your hotel towel during your stay?	ある研究によると、ホテルの宿泊客にチェックイン時にタオルの再利用を約束させたところ、タオルの再利用が増えたという。チェックイン時に誓約書を提出した。宿泊客は、その約束を思い出させるためにラベルピンを渡された。具体的には、少なくとも1枚のタオルを再利用する宿泊客の割合が25%増加し再利用されたタオルの総数は40%増加した。 Baca-Motes, K., Brown, A., Gneezy, A., Keenan, E. A., & Nelson, L. D. (2012). Commitment and behavior change: Evidence from the field. <i>Journal of</i>
	32 P39	A small study in the Netherlands found that, compared to farmers who only received feedback, farmers who also made a public commitment reported being more likely to adopt sustainable farming	オランダで行われた小規模な調査によると、フィードバックを受けただけの農家と比較して、公的なコミットメントを行った農家では、持続可能な農業を採用する可能性が高いことが報告されている。 Lokhorst, A. M., Van Dijk, J., Staats, H., Van Dijk, E., & De Snoo, G. (2010). Using tailored information and public commitment to improve the environmental quality of farm lands: an example from the Netherlands. <i>Human Ecology</i> , 38(1), 113-122.
	36 P44	Multiple studies have found that removing trays from a university cafeteria significantly reduced 'plate waste,' as there was a hassle of having to get up multiple times that reduced mindless food grabbing.	複数の研究が、大学のカフェテリアからトレイを撤去したところ、「皿の無駄」が大幅に減少したことを発見した。というのも、何度も立ち上がる手間があるため、無意識に食べ物を手に取るが減るからである。 Thiagarajah, K., & Getty, V. M. (2013). Impact on plate waste of switching from a tray to a trayless delivery system in a university dining hall and employee response to the switch. <i>Journal of the Academy of Nutrition and Dietetics</i> , 113(1), 141-145.
	38 P44	A study found that specialized recycling container lids, as opposed to no lids, increased the beverage recycling rate by 34 percent by making it very easy and intuitive to know what type of waste and container belongs where.	ある調査によると、リサイクル容器専用の蓋を使用すると、蓋がない場合と比較して、飲料のリサイクル率が34%向上した。 Duffy, S., & Verges, M. (2009). It matters a hole lot: Perceptual affordances of waste containers influence recycling compliance. <i>Environment and Behavior</i> , 41(5), 741-749. <a href="http://media.cbsm.com/uploads/1/ItMattersaHoleLot.pdf">http://media.cbsm.com/uploads/1/ItMattersaHoleLot.pdf</a>
実行意図と計画をサポートする	39 P46	Would planning motivate you to recycle more at work?	オランダのある通信会社は、従業員が紙やプラスチックのリサイクルを増やすことで、環境への影響を減らそうとしていた。従業員がより多くの紙やプラスチックをリサイクルすることで、環境への影響を削減したいと考えていた。彼らは、リサイクルボックスを提供することの有効性と、リサイクルの実施意向を形成する機会を提供することの有効性を比較する実験を行った。を比較する実験を行った。リサイクルの計画を立てるのに時間を費やした従業員の場合埋立処分される廃棄物は、計画を立てなかった従業員と比較して75~80%減少した。この行動は、介入後数ヶ月間持続した。 Holland, R. W., H. Aarts & D. Langendam (2006). Breaking and creating habits on the working
メッセージと意思決定の簡素化	42 P46	When individuals used smart-meters to provide real-time feedback about their water consumption	スマートメーターを使ってシャワー時の水使用量をリアルタイムでフィードバックしたところ、水使用量が22%減少した。 Tiefenbeck, V., Goette, L., Degen, K., Tasic, V., Fleisch, E., Lalive, R., & Staake, T. (2016). Overcoming salience bias: how real-time feedback fosters resource conservation. <i>Management science</i> , 64(3), 1458-1476.
選択肢の設定を変更する	47 P49	How often do you stick with the default option?	ラトガース大学のコンピューター・ラボで行われた研究では、紙の節約を目的として、コンピューターのデフォルト・オプションを両面印刷にすることが検討された。ある学年の間にこの設定変更により、紙の使用量が45%減少した。これは1,280本の木の節約に相当する。論文なし
	49 P49	A study to increase vegetarian meal selections found that if you integrate plant-based diets into the menu design rather than placing them in a separate chapter, people are more likely to order vegetarian because they appear as just another item, and the option is normalized rather than segregated as for vegetarians only.	ベジタリアン食の選択肢を増やすための研究によると、植物ベースの食事を別の章に入れるのではなく、メニューデザインに組み込むと、ベジタリアンは単なる一品として表示され、選択肢がベジタリアン専用として分離されるのではなく、標準化されるため、人々がベジタリアンを注文する可能性が高くなることがわかった。 Bacon, L., & Krpan, D. (2018). (Not) Eating for the environment: The impact of restaurant menu design on vegetarian food choice. <i>Appetite</i> , 125, 190-200.
	52 P49	Combining eye-tracking lab studies and in-store field trials, one study found that making the forest certification label on coffee more salient and visually appealing (using images of trees) led to greater attention (looking at the product for longer) and a 22 percent increase in sales. In contrast, consumers' concern for the environment, and the provision of information about the forest certification scheme, had no impact.189	視線追跡によるラボ研究と店頭での実地試験を組み合わせる研究では、コーヒーの森林認証ラベルをより顕著で視覚に訴えるものにする(木の画像を使用する)ことで、より大きな関心(商品を見るために商品を見ること)が得られることがわかった。売上が22%増加した。 Takahashi, R., Todo, Y., & Funaki, Y. (2018). How Can We Motivate Consumers to Purchase Certified Forest Coffee? Evidence From a Laboratory

# 第6回WGについて

- 年度内に第6回行動変容WGを開催予定（3月頃）
  
- 議事（予定）
  - ・ 生物多様性の主流化に関する話題提供
  - ・ 行動変容にかかる過去の知見整理（結果共有）
  - ・ 今年度の環境省による行動変容関係の調査（結果報告）